

リレー記事 NO.122

持続可能な洋服選び

日常生活に必要な衣類ですが、繊維・アパレル産業は世界の汚染産業第2位という事を知っていますか？(1位は石油) 新品の衣類を作るには、原料調達から製造の工程で多くのCO2が排出され、多くの水が使われていて環境に大きな負荷をかけています。

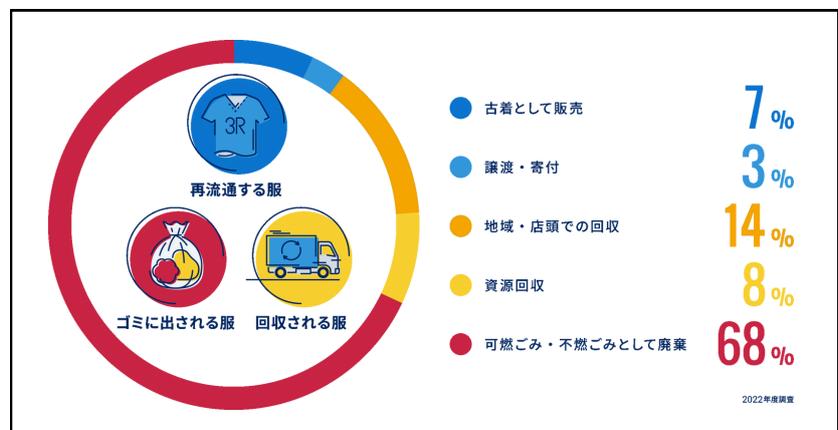
現在、日本で売られている衣類の98%は輸入品ですが、日本人が廃棄(焼却、埋め立て)する衣類は、なんと1日平均1200t、毎日大型トラック120台分にもなっています。その背景には近年のファストファッションの台頭があるようです。トレンド(流行)の周期が短く、衣類全体の製造量は増えているのに購入額は減少、環境負荷をかけて作った衣類を安く買っては廃棄を繰り返しています。そして、廃棄後のリサイクルはなかなか進んでいません。

高機能衣類やファッション性の重視など、複合素材が多く、分別を難しくしています。

環境省は2020年度、日本で消費される衣類と環境負荷に関する調査を実施し(ファッションと環境に関する調査)、私たち生活者と製造販売する企業の双方が行動するよう呼びかけています。

その中から、私たち生活者ができることを紹介します。

- 本当に必要？…日本人は1人当たり年間18枚買い、15枚手放し、1年間1回も着ない服を35枚持っています。
- 環境に配慮した製品？…日本人がすべての綿をオーガニックコットンにすると年平均67億m³の水使用が削減されます。
- 長く着続ける…日本人が1着を今より1年長く着ると、3万tの廃棄量削減になります。手入れ法や補修技術を知ることも服の寿命を延ばします。
- フリマの活用や、掃除に使う…直接廃棄以外の選択肢を検討しましょう。



おしゃれを楽しむと同時に社会への影響を考えて選ぶことが、これからのトレンドになるといいですね。手元にある1着とどれだけ長く付き合えるかが、今できることではないかと感じました。

<<Yっち>>

エコけんの監事になられて1年が経つ、柘植さんにインタビューをしました。理事会やエコけん会議に参加されて、どうすればできるかを皆で考える雰囲気は活気があり、聞いていてワクワクされているそう。一般企業の目線で意見をくださり頼りにしている存在です。

現役の頃はエネルギー関係の会社にお勤めで、お客様を訪問した際には、経済性・効率性よりも環境性を優先される方が多いことに驚いたそうです。そんな、エコけんの活動とも関係が深い柘植さんにお尋ねしました。

Q. 未来のために、今、何が重要だとお考えですか？

A. 現在の地球温暖化問題には、世界の経済と政治の思惑が絡み、解決に向けた大規模で統一的な行動は容易ではないが、しがらみを超えた強い意志ある人達の行動こそが最も重要になる。その意志と行動を世界中に広めていくことが大切。



Q. そのために、ご自身が暮らしの中で心がけておられることがあれば、お聞かせください。

A. ・お風呂の残り湯は、洗濯にはもちろんのこと、溜めている雨水と一緒にして撒水用にする。
・極力歩いて移動、自転車を利用するように意識する

【未来創りに向けたメッセージ】

今は目に見えない程の小さな変化でも、やがては誰でも分かるような変化になる。それが、いつしか理想の未来に近づくはずと信じて、皆で一步一步進んで参りましょう。

柘植さんの趣味は、ロードバイクやウォーキング。毎日2万歩以上早く歩くことを心がけており、年間にするとなんと600万歩！！定年後も健康にも環境にもやさしい生活をされている柘植さんは、以前のお仕事とはひと味違うエコけんの活動にもすっかり馴染んでおられるように感じます。

実際にごみ拾いに参加したり、研修にも同行され、いろんな課題と一緒に解決したいとの思いで関わってくださっています。

今後エコけんの一員として、未来創りに向けて一緒に進んでいきましょう。

《伊藤》

エコけん研修行ってきました！



できたてのトイレ
トイレットペーパーに
触れることも
できました。

3/11 九州製紙(株)北九州工場に行きました。

作業工程で、いかにごみを出さないようにするかを工夫されていることがわかり。トイレットペーパーの原料となる古紙が減らないためにも雑紙の分別が大事だと改めて感じました。



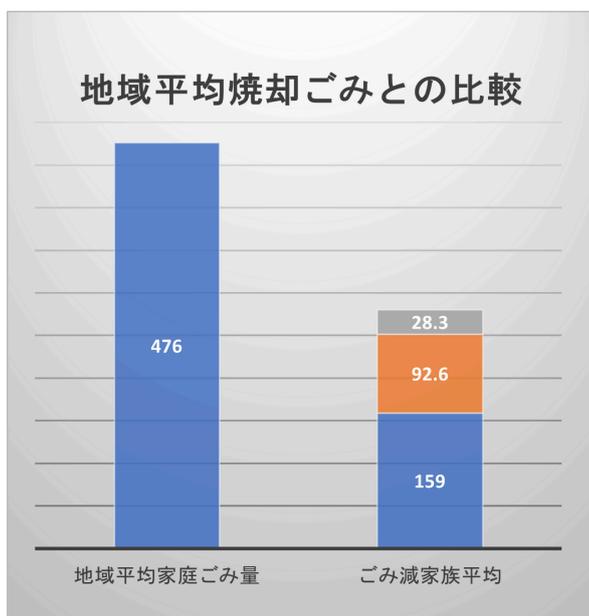
広い工場内には
人よりも大きな
ジャンボロール
がたくさん！



再資源化雑がみ・生ごみ集計報告

2月・3月に実施した、2ヶ月に及ぶ再資源化雑がみ・生ごみの計量結果を報告します。

地域平均焼却ごみとの比較



「ごみ減家族」は、雑がみの分別と生ごみをコンポストや直埋めなどで燃えるごみを減量しています。

	世帯数	延べ人数	g/日・人
雑がみ	14	1711	28.3
生ごみ	8	826	92.6
計			120.9

計量調査に協力してくださっている「ごみ減家族」の焼却ごみは、地域平均の約1/3の153gですが、雑がみ+生ごみはその8割余りとなり、ごみ減量を支える大きなポイントだということが分かりました。

これからも家庭ごみの計量調査を継続し、より信憑性のある数値を求めていきたいと思えます。

<< S >>

テトラパック発送しました



昨年12月から新たに回収を始めたテトラパックマーク付きの紙パック容器。3月22日に1回目の発送ができました！



少しずつ情報が広がったのか、持参くださる方がちらほらとあります。おかげさまで思いのほか早く1回目の発送ができて嬉しい限りです。今回の発送分はなんと398点のベルマーク点数となりました。ベルマーク点数は、つながりひろばを通じ、学校にプレゼントしてもらいます。今まで焼却するしかなかった内側にアルミを貼った紙容器を再資源化ルートにのせることで、子どもたちの教育の役に立つのはありがたいことです。

回収場所は、エコけん事務所、エコロの森 再生・展示棟、つながりひろばのエコけんロッカーです。今後も引き続き回収の協力をどうぞお願いします。

*新たにCanon製インクカートリッジの回収も始めました。
回収場所は上記3ヶ所と同じです。

<< 5 >>



大人の学びの場「とんてん教室」

毎年実施している大人のための教室です。今年も6月より、6教室を予定しております。少人数で、和気あいあいと楽しい教室になっています。今年度は目新しい教室もいくつか予定しています。

今後の予定

- 6/14(金)「ネットフリマのコツ」
- 10/21(月)「ポップアップカード作り」
- 11/8(金)「木の実のリース作り」
- 12/13(金)「しめ縄作り」
- 2/14(金)「梅シロップの梅ジャム作り」
- 3/7(金)「ネーム書きに挑戦」



*お申し込み・受付けは、開催日前月の1日(土日祝日を除く)からお電話・LINEにて。



【エコけんLINE公式アカウント】お友だち登録をお願いします。
月一回程度、教室やイベント情報などを配信します。LINE電話も可能です。

